

# んぽん舗

ポツ



242号

2023年 10月

[発行元]

石巻市NPO支援オフィス  
〒986-0832 宮城県石巻市泉町3丁目1-63  
TEL・FAX 0225-23-3641  
MAIL : centerishinomaki@gmail.com  
http://ishinomakinposhienoffice.jimdo.com/  
開館時間：月～金 10：00～20：00  
土曜日 10：00～18：00  
休館日 日曜・祝日・第四木曜日

毎月25日発行

NPOや市民活動に  
役立つ情報をお  
届けします。  
みなさまからの  
情報提供もお待ち  
しております。



## 助成金情報

### 2023年度 公益信託 オオバまちづくり基金

○助成対象：宮城県内において行われる、以下に掲げる  
助成対象活動を行う個人又は団体  
(東日本大震災からの復興に資する活動は積極的に取組む方針です)

- ①宮城県内のまちづくりのための街並みや環境の形成  
・整備、防災・減災等に資する活動
  - ②宮城県内のまちづくりのための地域コミュニティ形成、  
活性化に資する実践活動
  - ③宮城県内のまちづくりのための調査研究や啓蒙活動
- ※助成対象のイメージは、下記QRコードを読み取っていただき、  
リンク先から募集要項をご参照ください。

○助成件数及び金額：10件程度 総額500万円  
(1個人又は1団体当たりの助成金額に制限はありません。)

○募集期間：

2023年11月1日(水)  
～11月30日(木)(消印有効)



○お問い合わせ：

三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託チーム  
公益信託 オオバまちづくり基金 申請口

電話：03-5232-8910

(受付：平日9時～17時)

FAX：03-5232-8919

詳細は右記QRコードからご参照ください。



### 2024年度「エフピコ環境基金」

○助成対象：持続可能な社会構築を目的とし、以下①～③に  
関する幅広い分野を対象とします。

※①～③の活動は日本国内に限定いたします。

①環境保全活動

プラスチックごみ回収・リサイクルの推進など循環型社会の  
構築や気候変動問題の解決に貢献する活動

②環境教育・研究

体験型プログラム等を通じて自然環境を大切にする  
心を育む活動や環境問題を解決するための研究

③「食」課題解決・「食」支援に関わる活動

食育や食の安全・フードロスの対策となる活動

○助成対象団体：日本国内に拠点をもち、以下の条件を  
満たす活動実績のある団体とします。

①NPO・NGO、公益法人および法人格を持たない任意団体や  
グループを含む、非営利団体

②教育機関、地方公共団体



○助成金額：1案件当たり上限200万円/年

○募集期間：2023年10月1日(日)～12月20日(水)

○お問い合わせ：

エフピコ環境基金事務局

メール：fp-kankyokikin@fpco-net.co.jp

詳細は右記QRコードからご参照ください。



## イベント情報

### ～小泉八雲をめぐって～ 地域をつくる 地域を活かす「文化資源」

講演：小泉 凡 氏 (小泉八雲記念館館長・八雲曾孫)

怪談朗読：三國 裕子 氏 篠笛演奏：井上 きみどり 氏 松井 健 氏

○日時：令和5年11月18日(土) 14時開演(開場 13時30分)

○会場：マルホンまきあーとテラス・小ホール

○入場料：1,000円(高校生以下無料)

○主催・お問い合わせ：まちづくりNPOげんき宮城研究所

090-7526-7826(門間)・090-2959-8940(阿部)



主催：まちづくりNPOげんき宮城研究所  
共催：宮城県文化芸術振興局  
後援：石巻市教育委員会・三井住友信託銀行(石巻支店)・(株)石巻日産製紙・宮城県立石巻高等学校  
問い合わせ：090-7526-7826(門間)・090-2959-8940(阿部)

イベントを通して福祉への理解と関心を高めてもらう「2023いしのまき福祉まつり」(石巻市ボランティア連絡協議会主催)が10月1日、石巻南浜津波復興祈念公園で開かれました。

特定非営利活動法人一步を楽しむ石巻(以下=一步を楽しむ石巻)は、「一步のえん袋」(点字新聞を再利用したポチ袋)やビーズ製品などの販売で出店参加。隣地では石巻視覚障害者福祉協会が点字体験ブースを設けるなど、コロナ禍で思うように活動できなかった社会福祉(啓発)に関わる団体が久々の集いを喜んでいました。

今回は一步を楽しむ石巻 副代表の神山大明(かみやまひろあき)さんに自身の障害について伺いました。神山さんは視野がだんだんと狭くなっていく先天性の病気があります。小学3年生の時、医師から「ゆくゆくは見えなくなる」と言われ、その当時は見えていたので意味が分からず実感もなかったそうです。ただ、その診断があったので心の準備ができ、その後も楽しく過ごせて来れたと言います。

現在の(目の)見え方は ○真っ暗ではない  
○人の動きがわかる・見える ○暗い色、明るい色はわかる

知人の紹介がきっかけで一步を楽しむ石巻に入会したのは5年前。それまでは視覚障害者は自分だけだと思っていたようで、入会後は自分の病気と同じ診断名の方々がいたことに驚いたそうです。



神山 大明さん

10月8日(日)に石巻ささえあいセンターで開催された「iPhone VoiceOver(ボイスオーバー)体験セミナー」では別の所属団体から講師として参加し、視覚障害者や弱視者の方でも操作できるようにするための機能を実践、講話しました。



基本操作を体験中

VoiceOverはスマホ画面の内容を読み上げ、それを聴きながら操作することで画面を見なくてもiPhone操作ができるとても便利な機能です。

神山さんは中途視覚障害者なので、点字指導は特別受けていませんが、障害者それぞれに合った、そして時代に合った方法で日常生活の不便を解消できればいいと強調します。

神山さんが所属する団体、特定非営利活動法人スマートアクセシビリティは、視覚障害者らが容易かつ主体的に情報技術を利用するための教育事業、支援事業、啓蒙啓発事業を通じ、誰もがデジタル活用社会の恩恵を受けられる社会の実現に向け、活動しています。

☆下記QRコードから、各団体ホームページをご覧ください☆

特定非営利活動法人  
一步を楽しむ石巻



特定非営利活動法人  
スマートアクセシビリティ

